

デイビッド・クック (COOKE, David C.)

KPMG コンサルティング常務取締役

不良金融機関の清算、預金保証、包括的整理、建て直しに幅広い経験を持つ。1989～1992年まで、米国整理信託公社 (RTC) 最高執行責任者。クック氏の指揮の下、RTC は約 700 の預金、不良債権 (総額 4,000 億ドル) を引き受けた。また、不良経営改善の指導にも携わる。彼の業績を称え、RTC 委員会、監視委員会、米国大統領より賞が贈られている。世界銀行、アジア開発銀行の指導にも関わり、『実践、東南アジアの資本管理』(アジア開発銀行出版) の著書でもある。世界銀行その他 (アジア開発銀行、米韓両国政府、韓国投資信託会社 (KAMCO) 主催の講演も数多く経験。

クック氏は、各国政府の政策助言にも関わっており、彼の顧客には日本、メキシコ、韓国、インドネシア、ポーランド、ブルガリア、ボスニア、スロバキア、クロアチア政府が含まれる。クック氏は、経営学博士、会計士、証券アナリストの資格を有し、各大学で講義を持つ。